

レジメン名

Ph陰性ALL聖域療法

出典 JALSG ALL202

実施部署区分

入院
 外来
 処置

対象疾患

Ph陰性ALL(15歳以上25歳未満)

進行・再発  
補助療法(術前・術後)  
初発

投与減量の基準

Cr	1.5mg/dL以上※		
その他	※MTXを25%減量。前回治療時にGrade3以上の腎障害があった場合は50-75%減量する。前回治療時に粘膜障害が高度であった場合は50%減量。		

投与中止の基準

Cr	2.0mg/dL以上		
AST(GOT)	200IU/L以上	ALT(GPT)	200IU/L以上
ANC	500/mm3未満	PLT	5万/mm3未満
その他			

1クール期間

総クール数  1クール

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
メトトレキサート(メソトレキサート)	3000mg/m <sup>2</sup>	輸液800mL	24時間	d1, 8
ロイコボリン	15mg/m <sup>2</sup> を6回	輸液100mL	15-30分	d2-4, d9-11(MTX開始後42時間から6時間毎)
メトトレキサート(メソトレキサート)	12mg/body	髄注		d2, 9
ヒドロコルチゾン(ソルコーテフ)	25mg/body	髄注		d2, 9
シタラピン(キロサイド)	30mg/body	髄注		d2, 9

1日投与順 (経時的にプレメドケーション・ポストメドケーション)
day1, 8 ①グラニセロン3mg/バッグ(30min) ②メトトレキサート3000mg/m <sup>2</sup> +輸液800mL(24hr) ③生食50mL(フラッシュ用) ④(側管)グラニセロン3mg/バッグ(30min) (①開始12時間後)  d2-4(MTX投与開始42時間後に開始) ①ロイコボリン15mg/m <sup>2</sup> +輸液100mL(30min)×6回  d9-11(MTX投与開始42時間後に開始) ①ロイコボリン15mg/m <sup>2</sup> +輸液100mL(30min)×6回  d2, 9 ①メトトレキサート12mg+生食2-6mL(髄注) ②キロサイド30mg(髄注) ③ソルコーテフ25mg(髄注)